



「脚下照顧」



『ガチャとピンとドンチャン騒ぎの関係』

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

連休工事、ご協力大変ありがとうございました。皆さんのお陰をもちまして無事、無事故で工事を完了することができました。

さて、突然、唐突にガチャピンの着ぐるみの写真で新年をスタートしまして誠に申し訳ございません。先ほどドンキホーテに行って大量に仕入れてまいりました。

レジの横でおばあちゃんがずっと私を凝視していて、『この作業服を着た人は、いったい何の為にこんなにたくさんのガチャピンを抱えているのだろう？』と呆然と立ち尽くしておられました。

もしそこで突然『がちょ～～ん！！』とかいって奇声をあげたらそのまま……………(あぶない)と、いうことで、実は今夜、連休工事の打ち上げを兼ねた新年会があるのです。そこでこのガチャピン軍団が大活躍するのです。まだこのネタは誰にもばらしておりません。スーツケースに入れて密かに持ち込み、長洲剛の『トンボ』に乗せて配るのです。これがテクアの定番です。しかしなぜガチャピンなのか？ そのことにお答えしなくてははいけません。

『作業者はみなガチャピンである…………』

そうなのです。我々作業者はみな、ある時はガチャガチャとあわただしく、またある時はピンと張り詰めているものなのです。

我々テクアの作業の合言葉は『凡事徹底』なのですが、これを完璧に成し遂げた現場というものはいまだかつて1度もありません。

この点検口まではきちんと掃除できたけど、最後の通路は掃き掃除できなかったとか、掃き掃除は出来たけど、あの縞鋼板の汚れは落とせなかったとか、きれいにすればするだけその隣が横が周囲が気になってきて手を出したくなります。

しかしそこに時間の制約やコストの制約が厳然と存在します。割り切ってサクサクと仕事をこなしていけないと、日が暮れてあたりが暗くなったり、長時間作業しすぎて逆に集中力低下による事故を誘発する可能性も出てきます。

我々作業責任者は『作業者の安全』を第1儀的に考えてガチャで行くところとピンと張り詰めて行くところを自在に使い分ける必要があります。脳波で表せば多分アルファ波とシーター波の違いだと思います。

もちろん大原則は『凡事徹底』です。可能な限りこの道を突き進んでいく覚悟であります。しかし毎日毎日、『ああ、今日はあそこの部分が手落ちだったなあ』とか『あの通路のゴミを見捨てて帰ってきたなあ』とか後悔の日々では我々の持っている生命エネルギーが漏れ出してしまいます。

そこでテクア人事理念『人間万歳!!』です。出来る自分も出来ない自分もすべて受け入れて、がんばっている自分を褒めてやる必要があります。

今夜はガチャピンの着ぐるみを被った『二流凡事徹底軍団』の人生の晴れ舞台なのです。

感謝！ 【羽原篤史】

